

令和8年度 羽合ひかり園・はしづホーム地域連携推進会議

1. 日 時 令和8年9月30日(水) 13時25分～15時20分
2. 場 所 羽合ひかり園 会議室
3. 出席者 外部委員：4/5名 羽合ひかり園：8/8名 はしづホーム：0/1名
4. 内 容

(1) 羽合ひかり園・はしづホームの現状について

園長より

①感染症について

- ・新年度以降、インフルエンザ、コロナではないが、利用者、職員の風邪熱等があり一部活動を止めた時期もあったが、比較的感染拡大には至っていない。

②アートギャラリーについて

- ・県民や地域の人が気軽に障がい者アートを楽しめるようになるために、当園が「はーとふるアートギャラリー」の認定を受けることとなる。近く県知事訪問を受けより認定式が予定されている。認定式終了後、地域の方等に案内させてもらう予定。

③虐待事案について

- ・7月下旬に虐待事案があり、内容的には心理的虐待。9月24日に県、市町村による監査を受ける。大きな指摘事項はなかったが、口頭での助言があり、継続性を持ち再発防止に努めていく。

④はしづホームについて

- ・生活支援員の欠員が慢性的に続いている事もあり、5月に1ホーム廃止する事となった。ご利用されていた4名の内2名の方は、他事業所のグループホームへ移管、2名の方は再入所となった。現在5ホーム23名の方が共同生活援助の利用となっている。

(2) 羽合ひかり園・はしづホーム支援の取り組みについて（ホームページ未掲載）

- ・強度行動障がい者支援に関するこれまでの支援について
- ・現在当園が直面している課題について

(3) 各委員からのコメント（質疑応答）

■委員より

職員が少ない中、求められるものが多く内容も難しくなっている。また高齢化も進んで職員の負担も大きく、課題はあると思うが現状の支援を担保できるように努めて下さい。

□当園より

重度の方を受け入れる際、加配が付いていたが今は人員が足りない。県の人口も52万と減る一方で、今よりさらに厳しい状態になると思う。

■委員より

国の報酬改定については、総論的なことは理解できたが、今後の課題としてあげられている意志決定支援や地域移行にどのように繋げていくのか。

□当園より

意思決定支援については国のガイドラインに沿って当園なりに解釈し進めているが、まだ明確にどのような手法が良いか決めかねているのが現状。日常生活場面で選択の場面を増やしていく事など行っているが、どのように意思表出をして頂くか明確にしていない。まず実施しその中で検証等を繰り返し、定着出来ればと考えている。

地域移行については関係機関と連携をしていき、進めていく必要があるがご本人の意向確認の手法についても個人にあった意向の取り方をしていく必要があり難しさを感じている。

■委員より

外部機関ケース検討会とはどのようなものか

□当園

現在、鳥取市のNPO法人の就労継続B型事業所より3ヶ月1回のペースで来て頂いている。発達障がい支援に精通された方で、外部から感じる入所支援の在り方などを、助言をして頂いている。

■委員より

グループホームが1つなくなると話がありましたが、どこのホームか。

□当園より

女性のホーム。老朽化しているホームより4名の方が10月に引っ越しを行う予定。

■委員より

施設入所支援及び共同生活援助を利用されている方の最高齢は

□当園

最高齢は76歳。施設入所支援の平均年齢は49.2歳。共同生活援助の平均年齢は51歳となっており、高齢化も年々進んでいる。施設移管の困難さもあり県内の入所系の事業所は同じような問題を抱えておられると思う。

(4) 施設見学

- ・日中活動室、医務室
- ・アートギャラリー（体育館）
- ・はしづホーム（6ホーム）

■委員より

- ・活動室が構造化されている事が実際に分かった。ご利用者の方はわかりやすさがあり、落ち着いて活動されているのではと感じた。
- ・ハード面でも老朽化しているが工夫されている事が分かる。
- ・医務室も様々な工夫がしてあり誤薬等に気をつけておられると感じた。
- ・個性があるアート作品が展示されており、是非地域の方にも見て頂ければと感じた。
- ・障がい者アートは全国に広がりを見せており、大きな企業とタイアップしている作家もいると聞く。将来的に自身の作品で還元されるような事があれば幸せな事。
- ・ホームの老朽化もあり苦勞されていると感じたが、ご利用者にとっては住み慣れた空間や、共同生活している顔馴染みの人と暮らす事で穏やかに過ごされているのではと感じた。
- ・ホーム建築については基準が年々厳しくなっていると聞く。新築されるとしても予算的な事もあり難しさはあるのではと思った。

(5) その他

- ・次回は通所施設で行っている取り組み等について説明等考えている。